八宿祭り、大活躍

11 月３日、秋晴れの中、恒例の「八宿祭り」が開催されました。かつて、宿場町として栄えた佐治の街中にたくさんのお店が並び、広場でのステージ発表や古民家での展示、佐治来楽館での催し等を中心に、地元の人や観光客でにぎわいました。中でも、コロナ禍で中断していた「飛脚リレー」が復活し、小中学生や地元の人たちが多数参加し、大変盛り上がりました。中学生チームが見事「優勝」と「準優勝」に輝き、豪華景品を獲得しました。また、昨年に引き続き、２年生の総合的な学習の時間の取組の一環で「ふるさと青垣魅力発見！」と題して、いくつかの催しを企画・運営しました。スタンプラリーやオリジナルの紙芝居、木で作るキーホルダー等、来場する子どもたちに喜んでもらおうと試行錯誤を繰り返し、完成度を高めて当日を迎えました。どの企画も大好評で、子どもたちの喜んでいる姿と、子どもたちを優しく見守る２年生の姿が印象的でした。吹奏楽部は氷上西高校吹奏楽部と合同で、楽しい曲や懐かしい曲を披露し、多くの聴衆を楽しませました。

地域行事において、中学生が企画し、運営の一部を担うことは、意義深いことです。そうすることで、より深く地域に関心を持ち、地域と関わりを持とうとする気持ちを育み、やがては地域を愛する生徒につながっていくと思います。改めて、これからも地域とともにある学校でありたいと感じる一日でした。



復活した飛脚リレーのスタート



飛脚リレー優勝の青中チーム



古民家わくわくスタンプラリー



つくって発見！青垣木ホルダー



紙芝居でめぐる青垣の自然と歴史



吹奏楽部　氷上西との合同演奏